令和８年12月市議会定例会請願文書表

請願番号	請願第21号
件　名	2027年度教育関連予算に関する請願の件
請願者	八尾市堤町3－51－15 八尾の教育を考える市民会議 馬場野　成和 八尾市南本町4－6－54 八尾の教育を考える市民会議 飯田　謙二（外署名575名）
請願要旨	全文（写し）の通り
紹介議員	越智　妙子
付託委員会	文教
受理年月日	令和8年11月9日

請願番号	請願第22号
件　名	保育・学童保育と子育て支援の拡充を求める請願の件
請願者	八尾市緑ヶ丘5－5－16 志村　ちさと（外署名179名）
請願要旨	全文（写し）の通り
紹介議員	越智　妙子
付託委員会	文教
受理年月日	令和8年11月10日

請願番号	請願第23号
件　名	介護保険料の来年度大幅引き上げの中止を求める請願の件
請願者	八尾市恩智北町1－21 八尾社会保障推進協議会 会長　矢部　あづさ
請願要旨	全文（写し）の通り
紹介議員	田中　裕子、越智　妙子
付託委員会	健康福祉環境
受理年月日	令和8年11月10日

請 願 番 号	請願第24号
件　　名	八尾市域に残る戦争遺構の実態把握に関する請願の件
請　願　者	八尾市東久宝寺１－３－６ 八尾の戦争遺跡を保存する会 代表者　佐藤　啓二
請 願 要 旨	全文（写し）の通り
紹 介 議 員	稲森　洋樹、田中　慎二、田中　裕子、越智　妙子
付 託 委 員 会	建設産業
受 理 年 月 日	令和8年11月10日

２０２６年１１月９日

八尾市議会
　議長　竹田　孝吏　様

２０２７年度教育関連予算に関する請願

八尾の教育を考える市民会議
八尾市堤町３丁目５１－１５　　馬場野　成和[redacted]印

八尾市南本町４丁目6-５４　　飯田　　謙二[redacted]

請願項目

来年度の予算編成にむけて教育関係予算の緊急８項目について請願します

① すべての児童・生徒にゆきとどいた教育を実現するため、少人数学級にしてください。同時に、特別支援学級の児童・生徒を含めて１クラス３５人以下（中学２・３年は４０人以下）で、すべての授業・行事など教育活動ができるようにしてください。そのために必要な教員の配置をしてください。
② すべての小中学校で不登校の児童・生徒に対応する校内教育支援センター（別室）に教員を配置してください。
③ 教職員の欠員状態をなくしてください。
④ 市内全小中学校で、すべてのトイレの洋式化（体育館も含む）を急いでください。
⑤ 特別教室のエアコン設置を進めてください。体育館にエアコンを設置してください。
⑥ 中学校給食無償を来年度以降も継続し、中学校の学校給食を自校調理で行うとともに、「食育の充実」の観点から、すべての学校に栄養職員を配置してください。
⑦ 豊かな放課後を子どもたちに保障するため、放課後児童室の施設の充実と指導員を増員してください。
⑧ すべての学校の教育環境を整えるために、八尾市立学校の学校配分予算を増額してください。

紹介議員

越智妙子

2026年11月10日

八尾市議会議長

議長 竹田孝吏 殿

請願者
住所 八尾市緑ヶ丘 5-5-16
名前 大村 ちさと

紹介議員
越智妙子

子どもにもっと安心を！保育・学童保育にもっと支援を！

― 保育・学童保育と子育て支援の拡充を求める請願書 ―

1.乳幼児と保育者の生命と健康を守るため、保育園等が実施する熱中症対策に必要な費用を支援する補助金制度を創設・拡充して下さい。

2.保育園が災害等で休園する事態になった時、継続的な保育の保障を行政の責任で行うことを求めます。

3.保育施設等で働く職員を確保し、継続して働き続けられるように、八尾市保育士確保事業施策を拡充してください。

4.保育園の給食費を無償にしてください。

5.個別の配慮や支援を必要とする子どもに必要な保育士を配置できるよう、加配保育の予算を確保・拡充してください。

6.学童保育のトイレや教室など子どもたちが過ごしやすい環境整備を行ってください。また正規職員の指導員を採用し、引き続き市直営を守ってください。

署名数は 180 筆です

２０２６年１１月１０日

八尾市議会
　議長　竹田　孝吏　様

（団体名）
八尾社会保障推進協議会
会長　矢部　あづさ
八尾市恩智北町１－２１

紹介議員　越智妙子
田中裕子

介護保険料の来年度大幅引き上げの中止を求める請願書

１．請願提出の理由

物価高騰がつづくなかで、市民のくらしはきわめてきびしい状況となっていますが、それに追いうちをかけるように、３年に１度の介護保険料の改定が来年度予定されています。

現在の第９期介護保険料は、第５段階（基準額世帯課税合計所得＋課税年金収入８０万円以上）で月額７，０８９円、年額８５，０７０円となっており、大阪府内の介護保険料は、全国一高い大阪市の月額９，２４９円、年額１１０，９８８円をはじめ全国的にみても高い金額となっています。

しかも、現在の介護保険制度は、介護現場の人手不足はきわめて深刻で、介護職員の処遇改善も進んでおらず、「保険あって介護なし」の状況となっており、国に対して介護報酬の抜本改善、介護職員の大幅な処遇改善を求めることが重要になっています。

第１０期介護保険料は八尾市の一般会計からの繰り入れにより、大幅引き上げを中止することを求めます。

２．請願事項

（１）来年度予定されている介護保険料の改定にあたって、大幅引き上げを中止すること。

令和８年 11 月 10 日

八尾市議会議長　竹田　孝吏　様

請願者

住所　大阪府八尾市東久宝寺１丁目３番６号

団体名　八尾の戦争遺跡を保存する会

代表者　佐藤 啓二 [redacted]

八尾市域に残る戦争遺構の実態把握に関する請願書

1. 請願提出の理由

八尾市内には、旧陸軍大正飛行場の掩体壕をはじめ、戦時中の施設や当時の状況を伝える戦争遺構が残されています。これらは、地域の歴史や戦争当時の社会の状況を知るうえで、重要な手がかりとなるものです。しかし、戦後80年以上が経過し、現存する構造物の経年劣化が懸念されるとともに、当時の状況を知る方々も少なくなっています。十分な調査や記録が行われないまま時間が経過すれば、遺構そのものだけでなく、その歴史的背景を明らかにするための情報や証言が失われるおそれがあります。

こうした中、国においては、令和６年８月に文化庁が「近世・近代の埋蔵文化財保護について（報告）」を取りまとめ、近世・近代の遺跡の把握や保護に関する考え方を示しています。また、大阪府においても、文化庁の指針等を踏まえ、近代以降の遺跡のうち地域において特に重要なものを埋蔵文化財として取り扱う基準を定めるなど、近世・近代の文化財保護に関する取組が進められています。

一方、八尾市では、文化財保存活用地域計画や市史編纂などを通じて、戦争遺構に関する一定の情報が整理されているものの、市内に所在する戦争遺構の全体像や現存状況について、体系的な実態把握が十分に行われていない状況にあります。今後、これらの戦争遺構の歴史的・文化的価値や取扱いについて適切に検討していくためには、まず、市内にどのような遺構が存在し、現在どのような状況にあるのかを把握しておくことが必要です。

その際、すべての戦争遺構の保存や文化財指定、特定の遺構の先行調査を前提とするものではありません。既存資料やこれまでの調査成果を活用しながら、基礎的な情報を整理することは、今後の文化財行政における判断の基礎となるものと考えます。戦争遺構とそれに関する情報が失われていくことを防ぎ、地域の歴史を将来に引き継いでいくためにも、国や大阪府の動向を踏まえ、八尾市として基礎的な実態把握に取り組むことを求めるものです。

2. 請願事項

八尾市域に所在する戦争遺構について、既存資料の整理等を含め、その所在や現存状況などの基礎的な実態把握に取り組み、把握した情報を記録として整理してください。

請願紹介議員

氏名　田中 慎二
稲森 洋樹
田中 裕子
越智 妙子

（署名又は記名押印）